

芝地・花木林ゾーン

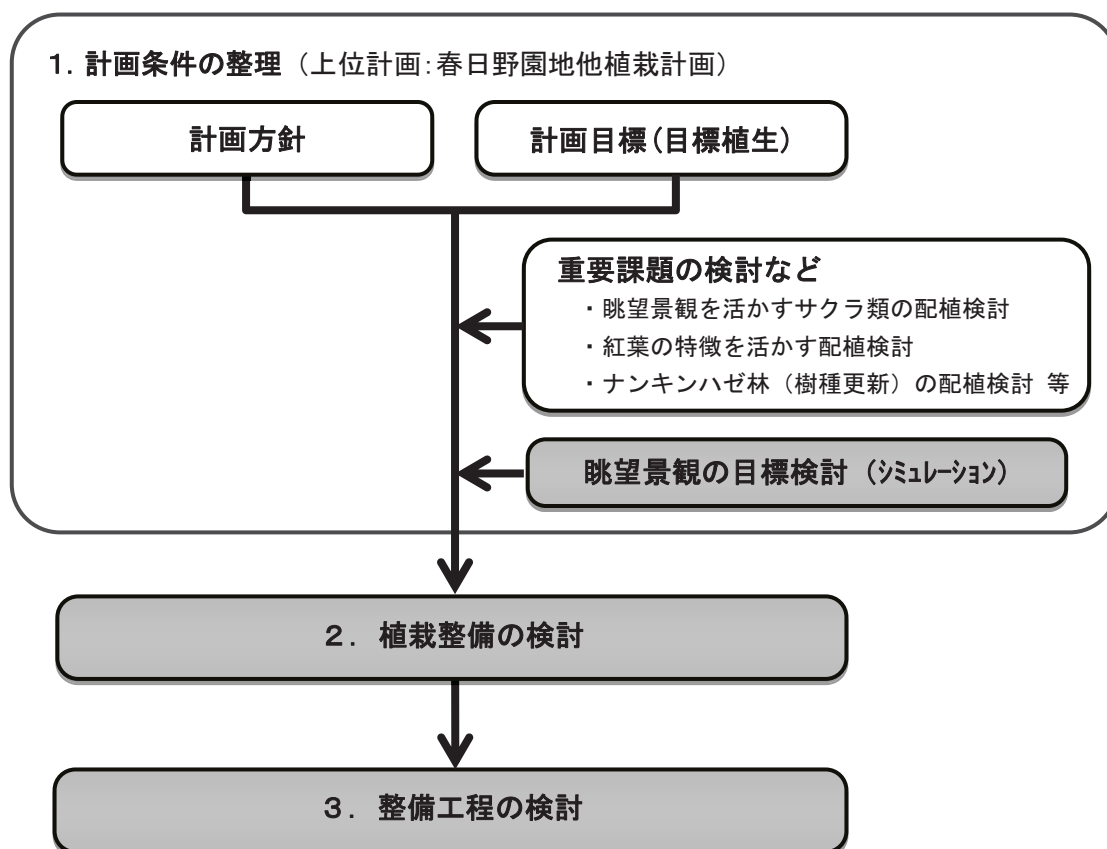
## 春日野園地他植栽計画（案）

### Ⅲ . 実施計画

#### 目 次

実施計画の検討フロー	3-1
1. 計画条件の整理	3-2
(1) 計画範囲	3-2
(2) 上位計画	3-3
(3) 眺望景観の目標検討	3-10
2. 植栽整備の検討	3-20
(1) 整備方針の検討	3-20
(2) 整備内容の検討	3-39
3. 整備工程の検討	3-49
(1) 整備の進め方の方針	3-49
(2) 整備順序の検討	3-50
(3) 重要な眺望景観に関わる整備の監理	3-51
(4) 事業計画の検討	3-52

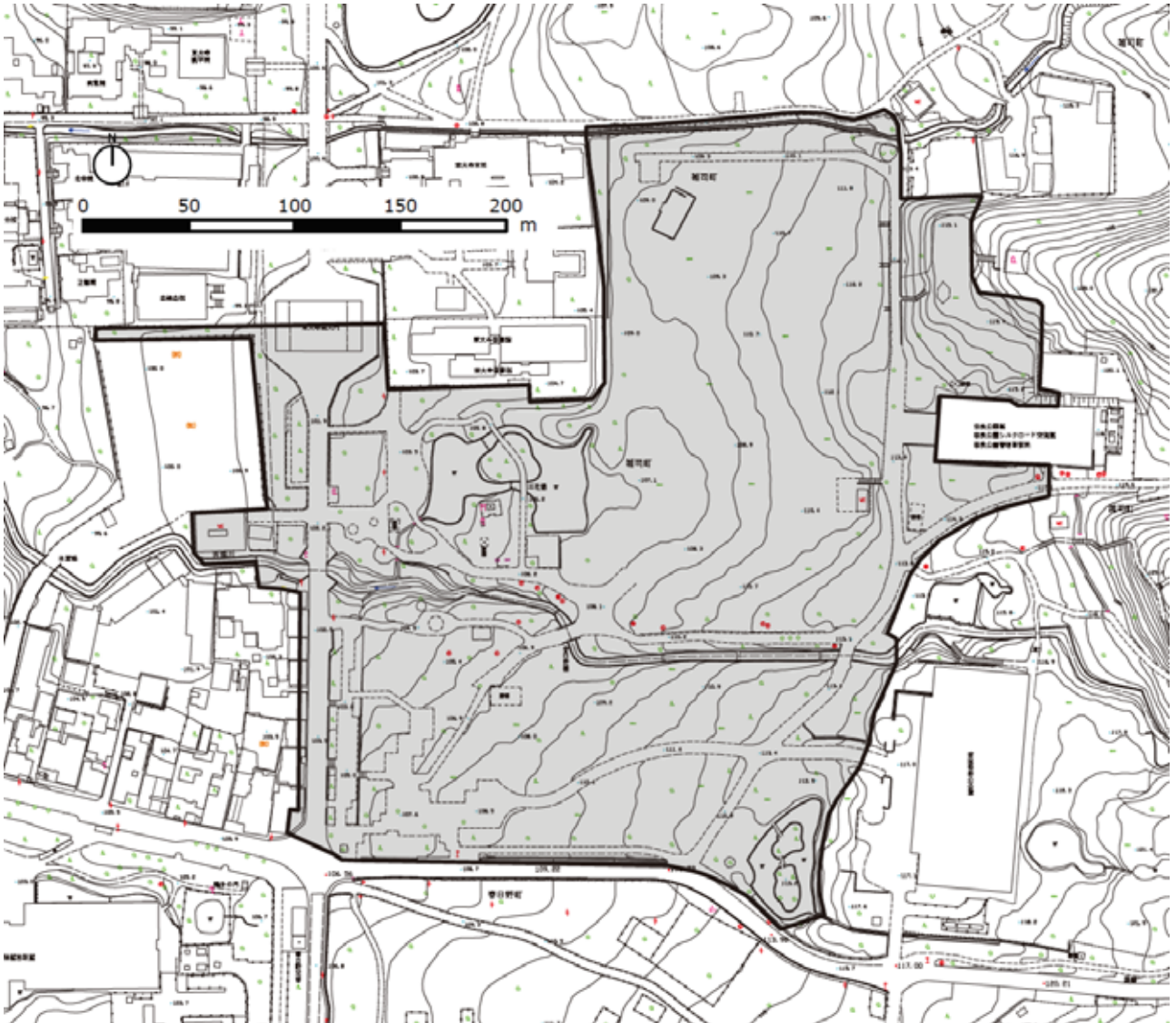
# 実施計画の検討フロー



# 1. 計画条件の整理

## (1) 計画範囲

実施計画の計画範囲は、以下のとおりである。

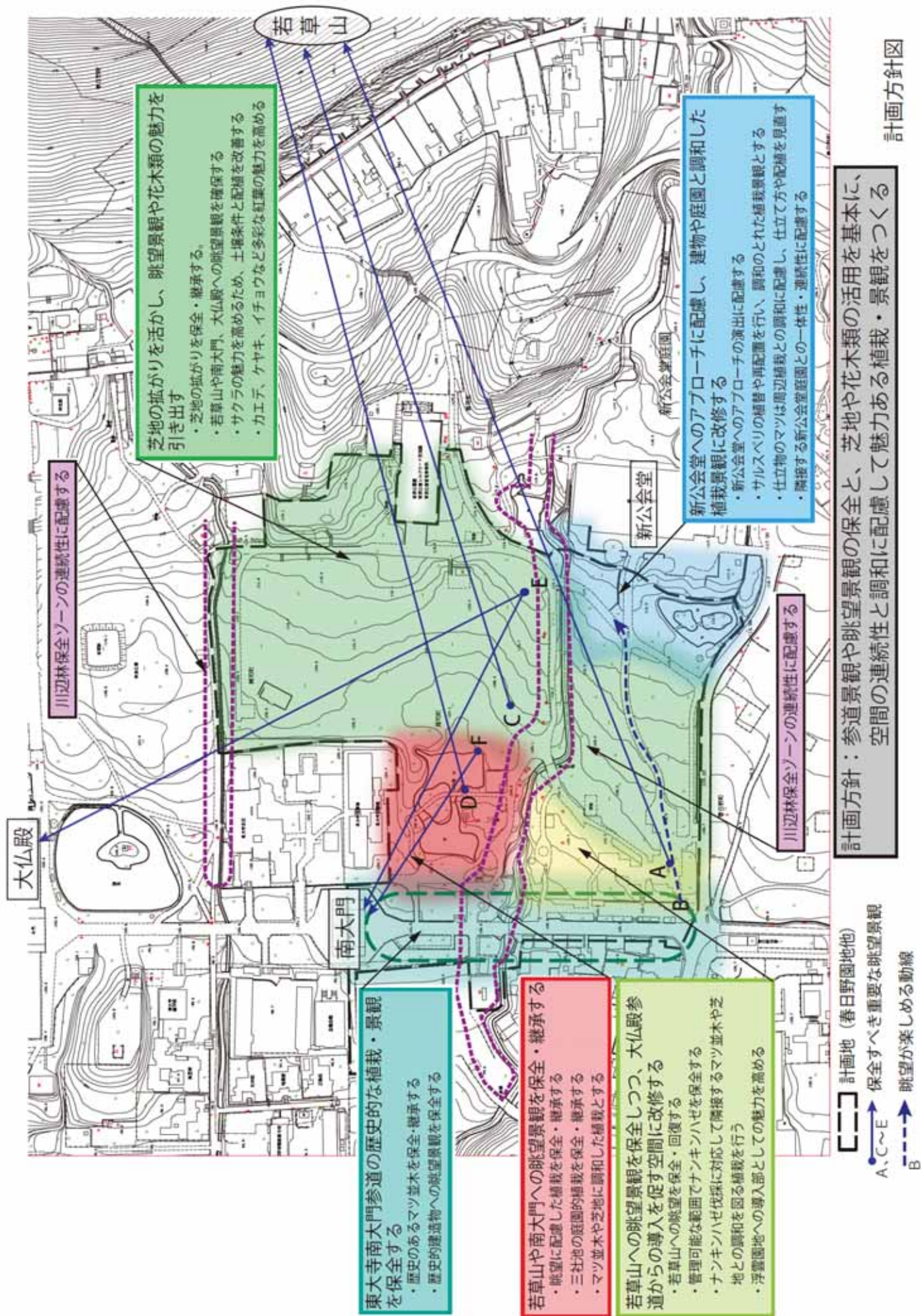


図：計画範囲

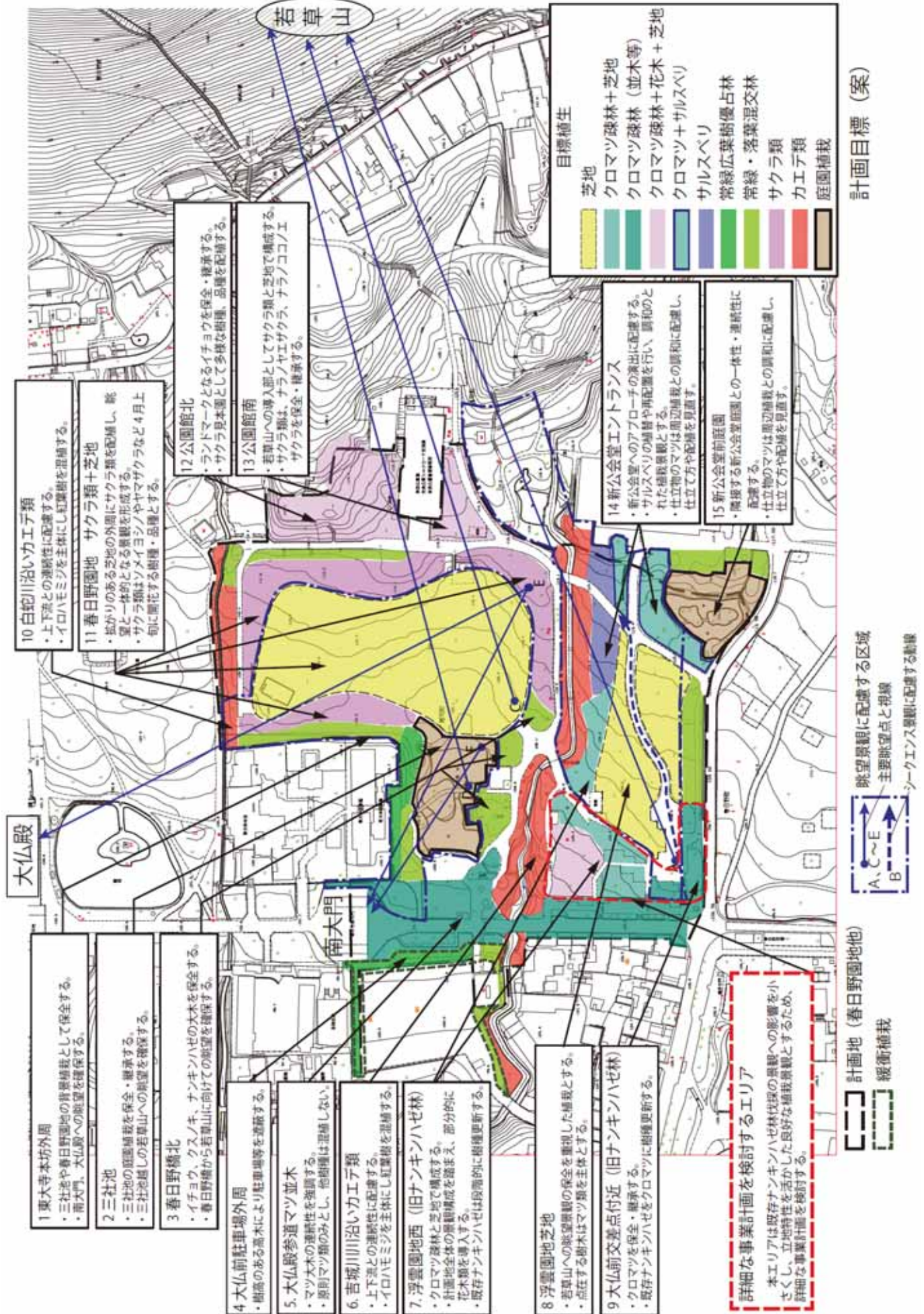
## (2) 上位計画

上位計画である春日野園地他植栽計画の要点を抜粋する。春日野園地他植栽計画は、名勝奈良公園保存管理・活用計画の計画内容を踏まえたものとなっている。

### 1) 春日野園地他植栽計画 「計画方針」「計画目標（目標植生）」



図：計画方針



計画目標 (案)

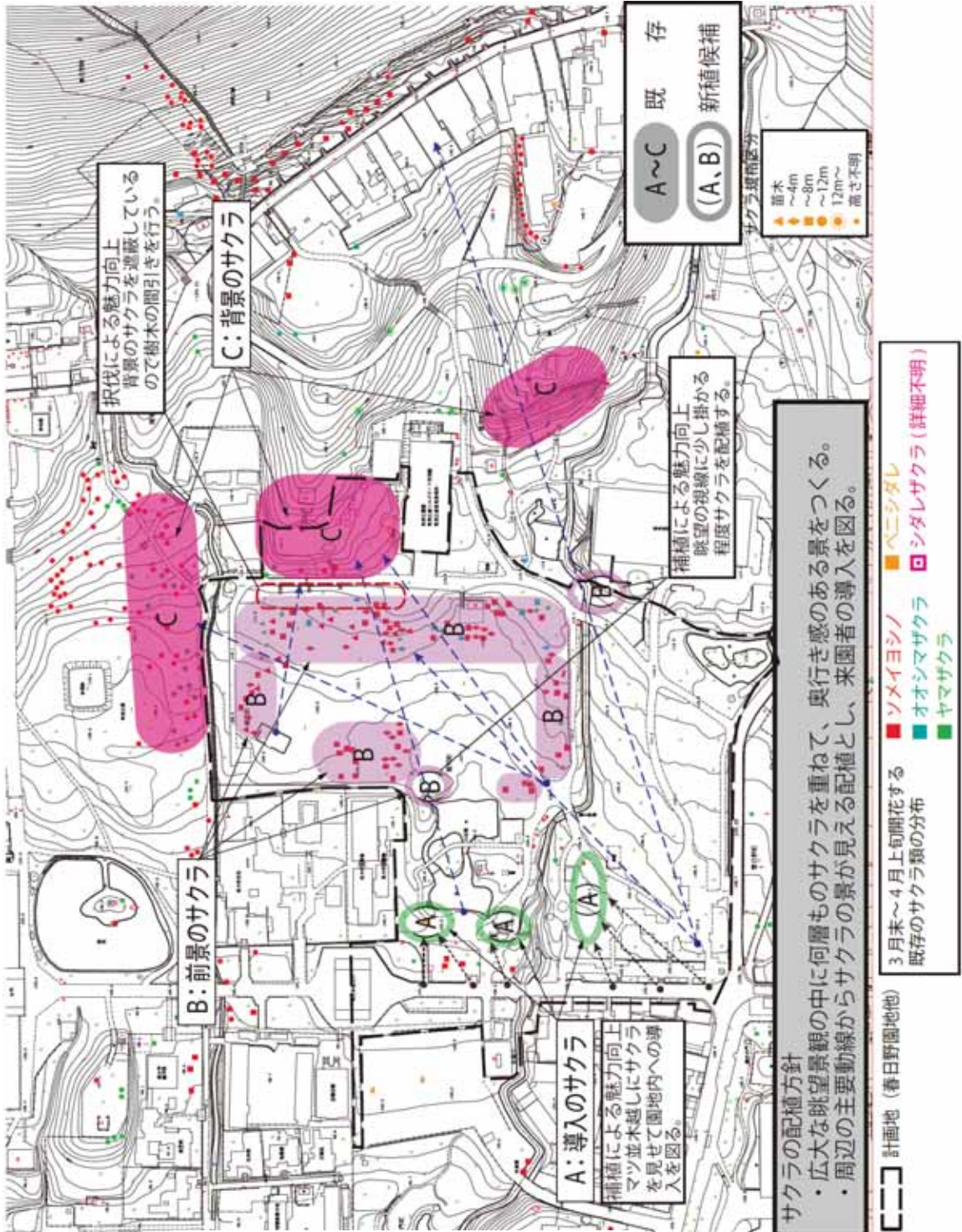
図：計画目標

2) 春日野園地他植栽計画 「重要課題の検討」

①眺望景観を活かすサクラの配植

**眺望景観を活かすサクラの配植方針**

- ・ 広大な眺望景観の中に何層ものサクラを重ねて、奥行き感のある景をつくる。
- ・ 周辺の主要動線からサクラの景が見える配植とし、来園者の導入を図る。



図：サクラと眺望景観を活かす配植（案）

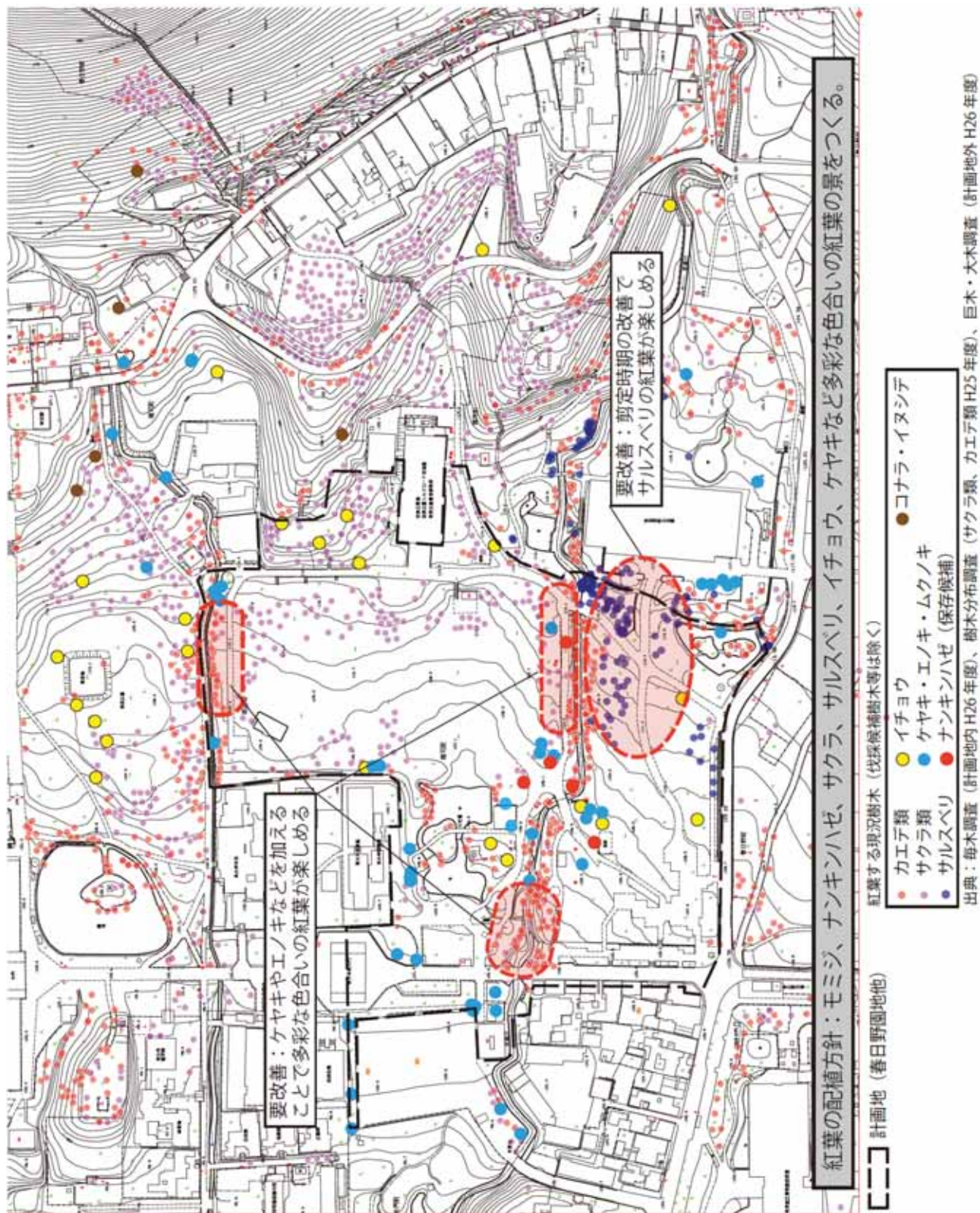
- ・ サクラの配植は、同一時期の開花が期待できる樹種、品種によって構成する。
- ・ サクラの詳細な配植検討は、実施計画を検討する段階で行う。

②奈良公園の紅葉の特徴を活かす配植

奈良公園の紅葉の特徴を活かす配植方針

モミジ、ナンキンハゼ、サクラ、サルスベリ、イチヨウ、ケヤキなど

多彩な色合いの紅葉の景をつくる。



図：奈良公園の紅葉の特徴を活かす配植 (案)

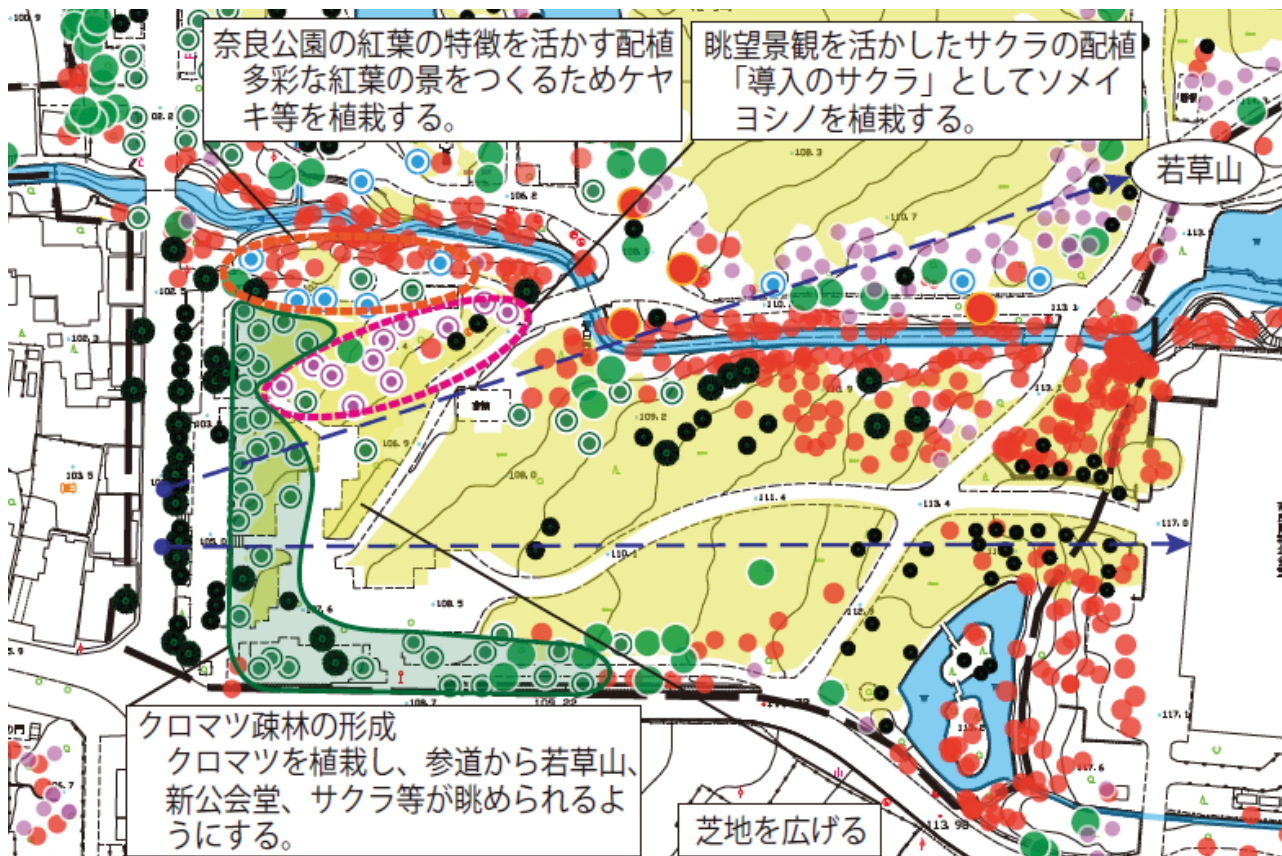


### ③樹種更新するナンキンハゼ林部の配植

#### 樹種更新するナンキンハゼ林部の配植方針

クロマツ疎林と芝地をベースに、眺望や花木の魅力をアピールする配植とする。

- ・ナンキンハゼ林部の西部分は、大仏殿参道クロマツ並木と同調するクロマツ疎林とする。
- ・ナンキンハゼ林部の東部分は、浮雲園地の芝地を拡大する。



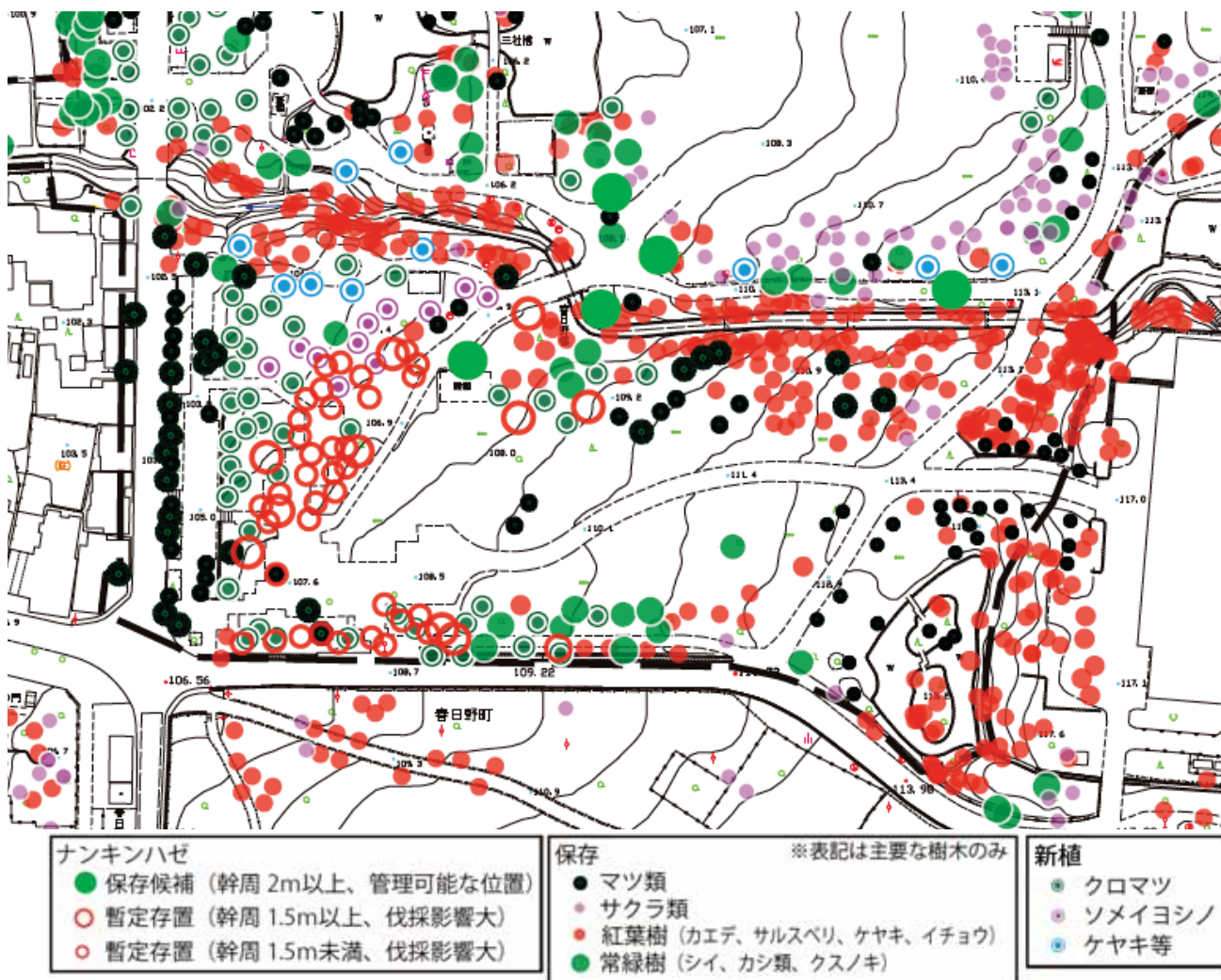
図：将来の配植（案）

#### ④ナンキンハゼ林の樹種更新の検討

##### ナンキンハゼ林の樹種更新の実施方針

ナンキンハゼ林は、これまでと同等の景観の魅力を維持しつつ、段階的に樹種更新を行う。

- ・景観的に秀でたナンキンハゼは、管理可能な範囲で保存する。
- ・景観への影響が小さいナンキンハゼは、優先的に伐採する。
- ・景観への影響が大きいナンキンハゼは、十分な期間をかける中で段階的に樹種更新を行う。



図：ナンキンハゼ 暫定存置の状況 (その他樹種を含めた表示)